

佐賀県「食」と「農」の振興計画2015 【概要版】

にせんじゅうご

平成27年11月策定
佐賀県生産振興部

計画の性格

さかの食と農を盛んにする県民条例
第27条に基づく計画として策定

計画の期間

策定	平成27年度
中間目標	平成30年度
目標	平成36年度






目指す姿

農業の担い手が夢と希望を持って働き、稼げる農業を
実践している。
また、人の交流が盛んで、魅力あふれる農村になっている。



佐賀県「食」と「農」の振興計画2015のポイント

- 1 **総合計画2015の実践計画**に位置付け、主要な推進項目は総合計画と連動
- 2 すばらしい農産物を「つくる」技術や創意工夫といったこれまでの取組は大事にしながら、付加価値を高めて稼げる農業を実現させるという想いを込めて、**目指す姿に初めて「稼げる」という表現**を使用
- 3 佐賀のいいものをしっかり売っていくことを意識するために、**施策の展開方向の一番最初に「売る」ことの施策**を掲載
- 4 付加価値を高め、農業所得向上が図られるよう、推進項目に**「6次産業化の推進」や「さが農村の磨き上げ」**を新設
- 5 品目別の生産振興方針の記載順を見直し、より農業所得の向上につながる**「園芸作物」を最初に掲載**
- 6 ベースの取組に加え、将来を見据えた取組を、**新たに重点項目**として掲載
- 7 農業産出額の**10年後の目標を1300億円程度**とし、その実現のために、推進項目ごとに**合計43の成果指標**を設け、施策を展開

	施策の展開方向	推進項目
I 稼げる農業の確立 【農業の振興】	「販売（うること）」の磨き上げ 1 県産農産物のブランド力の向上と販路の拡大	(1) 国内市場での一層の有利販売と新たなマーケットの開拓 (2) 県産農産物の輸出拡大 (3) 6次産業化の取組推進 
	「生産（つくること）」の磨き上げ 2 マーケットインによる競争力のある農産物づくり	(1) 佐賀の強みを生かした優れた農産物づくり (2) 安全・安心な農産物の生産システムの推進 (3) 新品種・新技術の開発・普及 
	「経営」「人づくり」の磨き上げ 3 次世代の担い手の確保・育成	(1) 意欲ある新規就農者の確保 (2) 経営力のある担い手の育成 
	「基盤」の磨き上げ 4 農業生産を支える生産基盤づくり	(1) 農地の効率的な利用による優良農地の確保・集積 (2) 生産基盤の整備と維持保全 (3) 農地等の防災・保全 
II さが農村の魅力アップ【農村の振興】	「農村」の磨き上げ 5 さが農村の魅力アップ	(1) さが農村の磨き上げ (2) 快適で安全・安心な農村づくり (3) 中山間地域農業対策の推進 (4) 有害鳥獣被害対策の推進 

1 県産農産物のブランド力の向上と販路の拡大

(1) 国内市場での一層の有利販売と新たなマーケットの開拓

展開方向

県産農産物のブランドイメージの向上
大都市圏等での販路拡大
加工食品等への県産農産物の活用推進



(2) 県産農産物の輸出拡大

展開方向

輸出気運の醸成
輸出環境整備及び支援の強化
信頼できる輸出ルートへの構築
取り巻く状況に対する適切な対応



(2) 6次産業化の取組推進

展開方向

農業者の経営多角化の推進
農業者と2次、3次企業が連携して行う農商工連携の推進

5

2 マーケットインによる競争力のある農産物づくり

(1) 佐賀の強みを生かした優れた農産物づくり

①野菜

展開方向

飛躍的な収量・品質の向上や低コスト化の推進
雇用型経営体や規模拡大を目指す農家の育成
加工・業務用野菜の作付拡大や多彩な野菜づくりの推進



②果樹

展開方向

果実の高品質化や低コスト化の推進
効率的な産地体制の整備
大規模経営の育成や新たな担い手の確保
果実の新たな需要開拓



③特産

展開方向

- i 茶 高品質なお茶づくりの推進
収益性の高いお茶経営の推進
「うれしの茶」の需要拡大
- ii 葉たばこ 高品質な葉たばこの生産安定等による担い手の経営強化



6

④花き

展開方向

消費者から選ばれる特色ある花づくりの推進
 担い手の経営体質の強化
 県産花きの需要拡大



⑤畜産

展開方向

高品質な畜産物の生産
 低コスト・生産性向上の取組
 肉用牛繁殖基盤の強化
 県産和牛の輸出促進
 口蹄疫・鳥インフルエンザなど家畜伝染病防疫対策の強化



⑥米・麦・大豆

展開方向

消費者・実需者から選ばれる
 米・麦・大豆づくりの推進
 担い手の経営基盤の強化と効率的で
 安定的な生産体制の整備



7

(2) 安全・安心な農産物の生産システムの推進

展開方向

農薬等の適正使用とGAPの取組拡大
 環境保全型農業の取組の推進
 トレーサビリティ・システムの確実な実施



(3) 新品種・新技術の開発・普及

展開方向

生産現場が直面する課題を速やかに解決する新品種・新技術の開発
 中長期的な視点による研究開発の推進
 効率的・効果的な試験研究の推進
 開発した新品種・新技術の速やかな普及

3 次世代の担い手の確保・育成

(1) 意欲ある新規就農者の確保

展開方向

幅広い就農ルートからの意欲ある
 人材の確保
 新規就農者の定着支援

(2) 経営力のある担い手の育成

展開方向

集落営農組織の経営発展・
 法人化等の推進
 高い経営力を持つ農業者等の育成

8

4 農業生産を支える生産基盤づくり

(1) 農地の効率的な利用による優良農地の確保・集積

展開方向

担い手への農地利用集積、集約の推進
 中山間地域の担い手の育成・確保、農地集積や農作業の受委託の推進
 優良農地の確保・耕作放棄地の発生防止、再生利用の推進



(2) 生産基盤の整備と維持保全

展開方向

農業用水の安定的な確保を推進
 農業生産性向上に資する農地の整備の推進
 農業水利施設の機能を効率的に保全するため、施設の長寿命化対策の推進
 農業用施設の適正な維持・管理の推進



(3) 農地等の防災・保全

展開方向

クレークの防災機能の保全
 地盤沈下対策の推進



9

5 さが農村の魅力アップ

(1) さが農村の磨き上げ

展開方向

農村ビジネスの創出
 情報発信
 農村の磨き上げの基礎づくり



(2) 快適で安全・安心な農村づくり

展開方向

農村の生活環境基盤整備と維持保全
 県土の保全や各種防災対策



(3) 中山間地域農業対策の推進

展開方向

中山間地域における農業生産の強化
 中山間地域の農業生産の維持
 中山間地域の特色を活かした農村ビジネスの創出

(4) 有害鳥獣対策の推進

展開方向

獣種共通対策
 侵入防止対策
 捕獲対策

10

将来を見据え、今から特に力を注いでいくべき取組 【重点項目】

担い手

‘農の夢’応援プロジェクト

～将来の佐賀農業を牽引する
担い手を育成する～



園芸

園芸農業における革新的技術等の
開発・普及

～佐賀の園芸農業を
持続的に発展させる～



畜産

「佐賀牛」の産地基盤の強化と
輸出の促進

～佐賀牛産地を持続的に
発展させる～



水田

日本一の‘水田フル活用’の推進

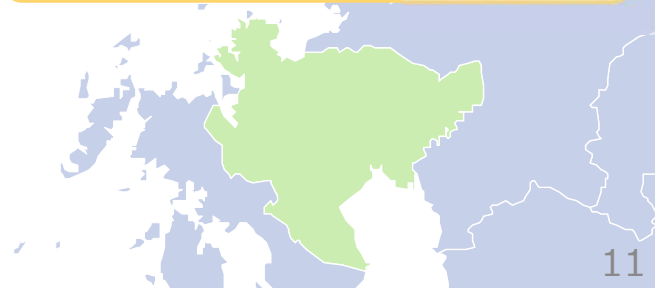
～全国トップレベルの生産性の高い
水田農業を展開させる～



農村

‘さが農村の磨き上げ’
農村ビジネスの創出

～中山間地域等の農家所得の
確保を図り農村を活性化させる～



将来の佐賀農業を牽引する担い手の育成

‘農の夢’応援プロジェクト

■新たに育成する雇用型経営体

- 経営体 (H26年度) → **3経営体** (H30年度)

■モデル的なトレーニングファームを整備する地区(累計)

- 地区 (H26年度) → **3地区** (H30年度)



スキルアップ研修の実施



トレーニングファームの整備支援

佐賀園芸農業の持続的な発展

園芸農業における革新的技術等の開発・普及

■いちごの10アール当たり収量

3,955kg (H26年度) → **4,500kg** (H30年度)

■高品質なみかん「さが美人」等の生産割合

23.0% (H26年度) → **33.0%** (H30年度)



施設園芸の統合環境制御システムの開発・普及

果樹根域制限栽培システムの低廉化やシステムの普及

「佐賀牛」産地としての持続的な発展

佐賀牛の産地基盤の強化と輸出の促進



肥育素牛

■肥育素牛の県内自給率

23.9% (H26年度) → **26.0%** (H30年度)

■牛肉の出荷頭数に占める輸出頭数の割合

4.5% (H26年度) → **7.0%** (H30年度)

繁殖農家の規模拡大、繁殖・肥育一貫経営の推進



キャトルステーション、ブリーディングステーションの整備推進



「佐賀牛」短期肥育技術の確立・普及



出促進の機運醸成出環境の整備



全国トップレベルの生産性の高い水田農業の展開

日本一の'水田フル活用'の推進

■水田の耕地利用率の全国順位

1位 (H26年度) → **1位** (H30年度)

■担い手への農地集積の割合

69.1% (H26年度) → **73.8%** (H30年度)



地域の特色を活かした
多彩な農作物の生産拡大

生産基盤の再編・整備



水田農業を担う農業経営体の育成

低コスト生産に向けた新技術等の導入



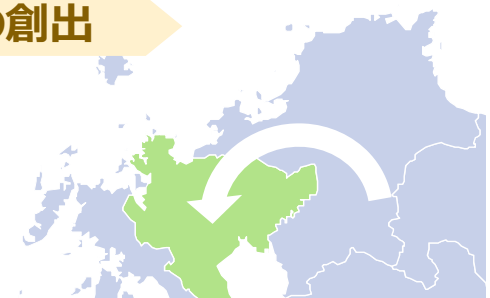
15

中山間地域等の農家所得の確保と農村の活性化

'さが農村の磨き上げ' '農村ビジネスの創出'

■県内の「道の駅」等の主要農産物直売所への来場者数

265万人 (H25年度) → **273万人** (H30年度)



ビジネス創出戦略づくり

魅力の磨き上げ

魅力のPR・セールス

地域の重点プロジェクト

佐賀中部地域

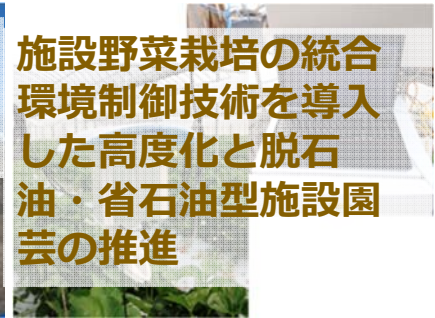
集落営農組織の経営強化



ほ場整備を契機とした新たな水田農業生産体制の確立



施設野菜栽培の統合環境制御技術を導入した高度化と脱石油・省石油型施設園芸の推進



東部地域

生産性の高い米・麦・大豆づくりの推進



高収益で競争力の高い園芸産地づくりの推進



集落営農組織・新規就農者等多様な地域担い手の育成



地域の重点プロジェクト

唐津・東松浦地域

収益性の高い施設園芸産地づくりの推進



肥育素牛生産基盤の強化



地域資源を活かしたアグリビジネスの展開



伊万里・西松浦地域

地域内肉用牛一貫生産体制の構築



果樹産地の維持・発展のための樹園地流動化の推進



野菜の収益力向上と面積拡大



米契約栽培を核とした中山間水田地帯の活性化



地域の重点プロジェクト

杵藤地域

意欲ある担い手の育成

消費者から選ばれる
商品づくりとブラン
ド力の向上多良岳山系における中
山間地域農業の活性化

問い合わせ先

課名	電話番号
農林水産商工本部 企画・経営グループ	0952-25-7257
新産業・基礎科学課	0952-25-7129
流通課	0952-25-7252
生産者支援課	0952-25-7113 0952-25-7115
農産課	0952-25-7117
園芸課	0952-25-7119
畜産課	0952-25-7121
下水道課	0952-25-7185
農山漁村課	0952-25-7124
農地整備課	0952-25-7126

機関名	電話番号
佐賀中部農林事務所 農政課	0952-31-3282
東部農林事務所 農政課	0952-55-9761
唐津農林事務所 農政課	0955-73-9347
伊万里農林事務所 農政課	0955-23-5106
杵藤農林事務所 農政第一課 農政第二課	0954-63-5115 0954-63-5112